



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel & fax 052-241-5231

www.kuonji.net

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

いま不思議ないのちを生きている!



東日本大震災から早や半年が過ぎましたが、被災した方々と国全体が復興に向けて力を合わせています。一步一步ゆくりですが、痛みを共有し、本来の人間の優しさ、共に生きる協調性が出てきているように感じます。
場所は違えど三重県・和歌山県の人々も今まで経験されたことのない山津波によって大きな被害に見舞われました。自然のエネルギーによって、私たちには制御できないほどの事態に追い込まれ、今まで当たり前にしておたことは何であつたかを問われているようであります。

戦後の貧しい時代から科学の著しい進歩により、恩恵を与えられ、便利で速く簡単に、また多くの物質的豊かさを味わってきましたが、人間が求めてきた飽くなき願いが一方では苦しみとなっています。科学技術によるものが氾濫し、時代の変化に振り回されている中で、自分を振り返る時がないように思います。

新幹線で言うなれば、目的の場所に早く到着することができると、町・村の文化、生活に触れることがなく、人間同士の言葉の出会いがなくなっていると思います。絆・人との関わりがなく、孤独感が加速化しているのではないのでしょうか。自分を省みる事が出来ないほど、時代の変化が激しくなり、人間がモノのように必要でなければ排除され、自分の存在感を失ない、自殺や孤独になる人々がますます増えるのではないかと、いうことを懸念します。

生まれてから親の無償の愛、そして自分の思いを超えた大きなはたらきのルールで今まで生きてきたことと思います。その生きてきた自分の思いを転換させる先人の声を聞き、未来に望みを

かけるばかりではなく、今生かされて生きている過去の歴史を知り、相手を敬い、自分を大切にすることと同時に、人間から見た自然でなく、まづ自然界の不思議なるはたらきを学ばねばならないと思うのです。

人間が作った第二の自然界は豊かさ便利さを追求しますが、人間の世界は無常であり有限なるいのちと教えてくれます。世界の様子は瞬時に伝わり人間が繋がっている故に傷み悲しみの心を共有している我々は皆家族でありましょう。当たり前前と思つて生きてきたことが実は当たり前でないことを、各地で災害に遭われた方々から教えられ、今が本当ではないぞ」と問い続けることが肝要なのであります。

宗教の教えは、私の願いを叶えてくれるものではなく、本当の生き方を示し下さるものなのです。

「かなる人生にも決して絶望はない。」

逆境こそ私の善知識であつた」 中村久子

過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となり、非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすい。」
東西統一当時のドイツの大統領

肉眼は他の非が見える

仏眼は自己の非に目覚める」 川瀬和敬

このような歴史の人の声を心から聞かせて頂き、重く受け止め、忘れないことが今本当に大切なことと思っております。

久遠寺住職 高山元智

合掌

法語カレンダーを味わおう!!

十月

雑行を棄てて 本願に帰す

正行即ち正業なり。正業即ち正念なり。正念即ち是れ念仏なり。即ち是れ南无阿弥陀仏なり」
正行とは、雑行・助行・邪行と対する言葉であります。

本当の事がわからない故に、本当でないことを本当として、思い通りに生きている私を大転換させた自覚の言葉であります。

我が生ずるに尽き、梵行すでに立つ所作すでになく、自ら後有を受けずと知る」
『阿含経』

私の思いで生きているのちではないと自覚め、私の中に真実の光が射し、迷いの心が消え、もうすべきことは無く、後悔はしない心の転換であります。これが雑行を捨てて本願に帰すとのころでありますよ。

十一月

心を弘誓の仏地に樹て 念を難思の法海に流す

弘誓は仏様の誓いのお言葉を広く弘める仏の願いである。難思は心で思い、口で言い表せないこと。
宝海は仏の功徳を海に例える。

親鸞聖人は比叡山であらゆる行を積まれました。しかし妄想の煩惱が必ず起きてくるのです。そこで、永い永い修行をされた仏様の救いの声を聞かれ、その心の転換によつて喜んで広く伝えようとする願いをしっかりと受け止め、心を仏様の功徳に任せていくのであります。



十二月

前に生まへんものは 後を導き

後に生まへんものは 前も訪え

亡くなられた人々の生き方の言葉が、今の私の歴史となつて今がある訳です。先に生まれた人々の教えが、今当たり前に生きている私を自覚めさせ導いて下さつて、いることに気が付きました。また後の者は、今を感謝することでできる人間になり、その教えを伝えていかねばならない、と思ふのです。あなたのお蔭で仏様から念ぜられて、いる私であったと気付かせて頂けるのではないでしょうか。



平成23年10月15日(土)

◎当山報恩講執行

法要 午後一時より
法話 午後二時より
布教使 浄泉寺住職 戸田信行師
非時 お食事)午前十一時より
庫裡座敷でお食事をお召し上がりになれます。是非召し上がって頂き、報恩講のお勤めを致しましょう。

◎報恩茶会 於書院茶室

午前九時半より午後十一時半迄
寺の茶室で、お茶とお菓子を是非お上がりください。
お勤め前の一服をどうぞ。

年に一度の報恩講をお勤め致します。皆様お誘い合わせの上、御参詣下さる事を、寺族一同心よりお待ちしております。

南无阿弥陀仏

久遠寺の掲示板

世の中が

便利になって

困っているのは

実は

人間なのです

淺田正作



平成23年8月更新

人間は両親との縁でこの世に誕生し、自分の誕生を知ることにはできません。両親や人に聞くか、写真などで知らされるわけです。ですが今我が身がある事実は二十四時間無償の愛で育てられた結果でもありません。それは私の思いを超えた無条件の親の愛で今の「生」があるのです。そして、自分で生きているのではない、生かされて生きていることを知ることとはとても大切なことだと思います。成長するとともに自分の思いや都合でその尊い大きな愛で育てられたことを忘れていくのではないのでしょうか。

生きるという言葉にはあらゆるものはたらきで生かされて生きているということに自覚め、その瞬間支えてくれた周りに有難うと言いたいものです。

合掌



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に一回ほど更新しております。法語に合せて当寺住職の味わいをお楽しみ下さい。

長編連載『心』の響き

久遠寺檀家の一員さん

家長(祖父)を上座に家族全員食卓を囲み習取らは天土御代の御恵み・心と合唱して會事が始まったものです。お末は、我々の口に入るまでにはそれは大変な労力が掛かっており心から感謝の気持ちをもたねばと、一粒の末も大切に、落ちたら拾って食べよと躰けられました。不潔だから、時代によって奢えも変わります。しかし、いつの時代も物を大切にすることは子供のためです。少子化時代のこの頃は子供の躰より可愛がりの方に重点を置き、欲薄弱な自主性・独創性の無い子供が多くなったように思われます。昔のように子沢山の大家族で育った者は時に兄弟喧嘩もあるでしょうが上の子供は下の子のお守りをしたり、善行へ導くこともよくありました。又何事も先に先にと根性でぶつかれば成就しないと子供心にわきまえて強くなってきました。男の子が泣く(こころものなら、親はすぐ男の子でしよう)男は泣かない者」と戒めたものです。次号へ続く。

先月末、久遠寺檀家の一員さんがお浄土に往生されました。寺の役員として寺を永い間支えて下さいました。病氣になられてからは、長い闘病生活でありました。悪戦苦闘しながらも病の事実を受け止められ、多くの教えを与えて下さいました。今後もそのお姿を道標とし、私たちが導いて下さることを願いながら感謝したいと思います。有難う御座いました。

報恩講って何？

第30号より引用)

親鸞聖人は九十歳(一二六二年)十一月二十六日に、浄土にお還りになりました。明治五年に太陰暦を太陽暦に替わったのを機に、一月十六日を「命日」として法要が勤められるようになりました。各末寺においては十月・十一月に報恩講を勤めております。聖人のご遺骨は京都東山大谷の地にお納められ、その十年後には東山吉水の地にご遺骨を移して、六角の堂を建立し、聖人の御影像を安置しました。

報恩講という名称は、本願寺第三代 覚如上人(親鸞聖人の曾孫)が親鸞聖人のご遺徳を讃え、『報恩講私記』を著された時からです。

毎年のご命日を通して、親鸞聖人のご恩徳を偲び、聖人のみ教えを学ばせて頂く、また改めて教えを確認させて頂く事が、報恩の名の由来であります。私達が思う恩に報いるとは、両親または先祖・恩師という周りの方々の御陰で今の自分があるという恩恵に感謝することであり、ます。しかし、真宗での報恩は、九十年の生涯を通して、真実の宗教とは何であるかと教えて下さった事、出遇わせて頂いた事への感謝であることが真義なのであります。

南无阿弥陀仏

健心に頂きまして
感謝の気持ちで一杯です!!!



高橋様、有難う御座います!!



秋田様、拂様、有難う御座います!!



仏教クイズ

あなたはいくつ答えられる？

- 1、お彼岸の意味は？
①地獄 ②天国 ③お浄土
④三途の川 ⑤あの世
 - 2、お彼岸は春分の日、秋分の日を
お中目として何日間ある？
①5日間 ②6日間 ③7日間
 - 3、お彼岸のお墓参り。お墓に水を
かけるのはどんな意味がある？
①お掃除 ②穢れを除く
③感謝の気持ち ④鬱憤晴らし
 - 4、彼岸に対する言葉と意味は？
①此岸⇨迷いの世界
②彼岸⇨何でも願いが叶う世界
- 答えは、上のページの左下!!

編集後記

命というローンコンベアが回る止まることのないコンベアが・・・86年の過去を彼方の遠くに見て前を向けばコンベアの先端は自分の目の前である耳を澄ませば、祖父母や父母、亡き妻の声がある血まみれの死んでいった義父の声もする皆このコンベアの先端から消えた私もいよいよ先端まで来てしまった落ちる落ちる！何処まで落ちるやら？それが知りたい知らねばならぬ時間がない！その時、私の耳元に大きな声があったそのまま来い！心配するな落ちたら、おれの手の中だ！私はこの不思議な声に思わず南無と答えた

この詩は法話会で先生が紹介して下さいました。人の死に対する恐怖不安を上手く表現され、仏様の救いの声が如実に聞こえてくる臨場感がすごく伝わってきますね。

仏様の救いは、欲ばかりの生活をしている私たちには聞こえてきませんが、実はもう聞こえている状態なのです。ただ私たちが聞こえていない、聞く状態になつていないだけのように感じます。我が身を省みた時に、南无阿弥陀仏とお称えしたら、きこつて聞こえてくる声がありますよ。

南无阿弥陀仏
久遠寺衆徒 高山信雄

◎久遠寺HP & blogも随時更新中です。是非お時間のある時にご覧ください。
◎寺報記事も随時募集中です。ご協力お願い致します。
◎お経本・お念珠等は床に直接置かないように気を付けましょう。

今後の予定

10月15日(土)
報恩講
法要 午後一時～
法話 午後二時～
布教使 戸田信行師
報恩茶会
午前九時半～十一時半迄
於 久遠寺書院茶室

賢隆山久遠寺

11月16日(水)
午後1:30～
真宗入門法話会⑬
和讃のこころ
～王舎城の悲劇～

久遠寺本堂

12月20日(火)
午後1:30～
真宗入門法話会⑭
和讃のこころ
～副題未定～

久遠寺本堂

1月10日(火)
午前9:00～
修正会 (お正月)
墓参り
☆皆様の御参詣を心より
お待ちしております。

平和公園墓地

是非皆様お揃いで御参詣ください。